

5. まとめ

B R M / B T Mとは、船橋で利用可能なあらゆるものを有効活用すること、船橋の乗組員を連携活用することで、安全運航を達成しようとする考え方です。

船員の皆様におかれましては、日々、船舶の運航に必要な知識の習得、操船技能の向上に努力されて安全運航を意識されていると思いますが、上位者は下位者が発言しやすい雰囲気積極的に作り、また、下位者は、組織内の役職や経験に関わらず不審なことがあれば指摘すること（アサーション）が求められます。

是非、B R M / B T Mの考え方も活用して、個人としての操船技術の優劣だけではなく、自分の操船意図を他の船員に伝えられているか、気付いたことを目上の相手にも躊躇せずに伝えられているか、といった非技術的技能の向上も意識しましょう。



操船シミュレーター

(独立行政法人海技教育機構海技大学校 提供)

事故防止分析室長のひとこと

運航者の皆様におかれては、人はどれほど能力があり経験豊富であってもエラー（見間違い、思い違いなど各種の過ち）をするものであるということを前提に、チームワークによりエラーの連鎖を断ち切ることを念頭に安全運航に努めていただきたいと思います。

本ダイジェストで紹介した事故防止対策を取り入れていただくことで、より一層安全確保につながることを願っております。

〒160-0004
東京都新宿区四谷1丁目6番1号
四谷タワー15F
国土交通省運輸安全委員会事務局
担当：総務課 事故防止分析室

TEL 03-5367-5026
URL <https://jtsb.mlit.go.jp/index.html>
e-mail hqt-jtsb_bunseki@gxb.mlit.go.jp

「運輸安全委員会ダイジェスト」に関するご意見や、
出前講座のご依頼をお待ちしております。

